

## 2019年12月期第2四半期 決算説明会【質疑応答集】

Q. コンテンツ事業においてゲームとゲーム以外の比率について知りたい。

A. 具体的な数字については開示していないが、現状ではゲームの比率が圧倒的に大きい。ただゲーム以外の周辺事業について引き続き注力していきたい

Q. ゲーム以外の周辺事業の伸びとしてはどれくらいか。

A. 例えばグッズなど外部に委託していた部分があったが、それを内製化することで利益率を向上させている。

Q. アセットマネジメント事業とITサービス事業については売上が少し下がっているが、今後これらの事業に関してどのようなスタンスで臨んでいくか。

A. ゲームについてはコストをかけても必ずしも収益化できるとは限らないので、アセットマネジメント事業やITサービス事業にて、堅調に収益を生み出す位置付けで事業を行っていく。アセットマネジメント（不動産）などでも過度なリスクは取らないようにし、一方で収益はしっかり確保していく方向である。

Q. 基本的にアセットは増えて行くのか。

A. 現状では売却に比べ仕入が減っている状況となっている。適正な利幅が確保できるような状況になれば増やす予定である。

Q. ITサービス事業においては人材の投入がないと拡大はないと思うが現状はどのような状況か。

A. 新たな投入というよりは入れ替わりはあるので、しっかりとそこを補っている。売上はしっかり出ており、収益もわずかではあるが回復している状況である。